

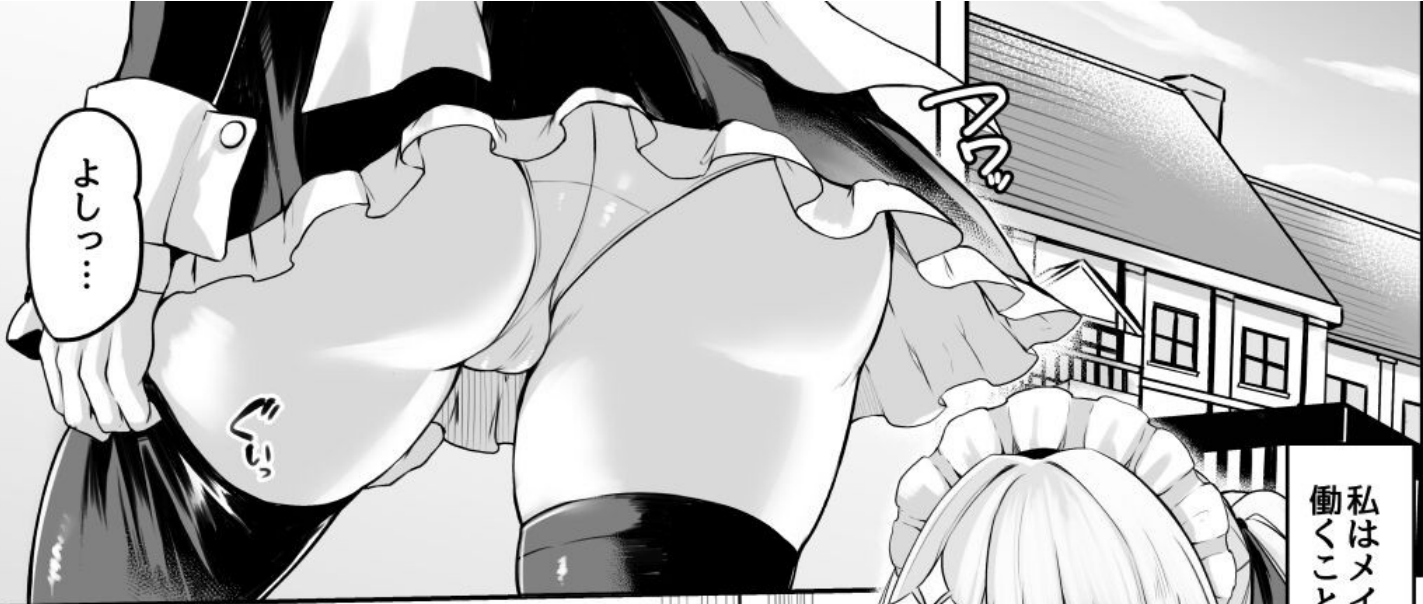
ELFIN QUEST

Silvy's Adventure

#メイド催眠陵辱編



R-18
成人向
for adult only



私はメイドとして
働くことになった



私がギルドから
引き受けている

該当外依頼は
多種多様にある



ちよつと丈が短い
気がするけど...
意外とかわいいわね

というのも私が今回
引き受けたクエストだ...



今回はとある騎士からの
内密の調査クエストだった

内容はこの屋敷の当主...
サイーミの悪事の証拠を
手に入れて報告すること

ご主人様は午前の
執務を終えたら挨拶に
いらっしゃるわ

依頼者の情報だと
この屋敷に働きにでた女性
たちが帰らないということだ

中には既婚者や恋人が
帰らない者もいる

現当主であるサイーミは
好色でいい噂は聞かない

なにかあると感じた
彼と同僚の女騎士は
調査をしていたけど

貴族は騎士団との
繋がりが強いため
手出しが難しかった

そして同僚が潜入調査し
戻らなくなったという…

私は依頼を引き受け
「セシル」という偽名で

使用人として
働くことになった

とはいえ…この日給…
今回の依頼とそんなに
変わらないんだよなあ…

面接もなしに即採用
されたのはいいけど
ちよつと怪しいわね…

もしかしたら日給が
いいから戻らないだけ
なんじゃないかしら…

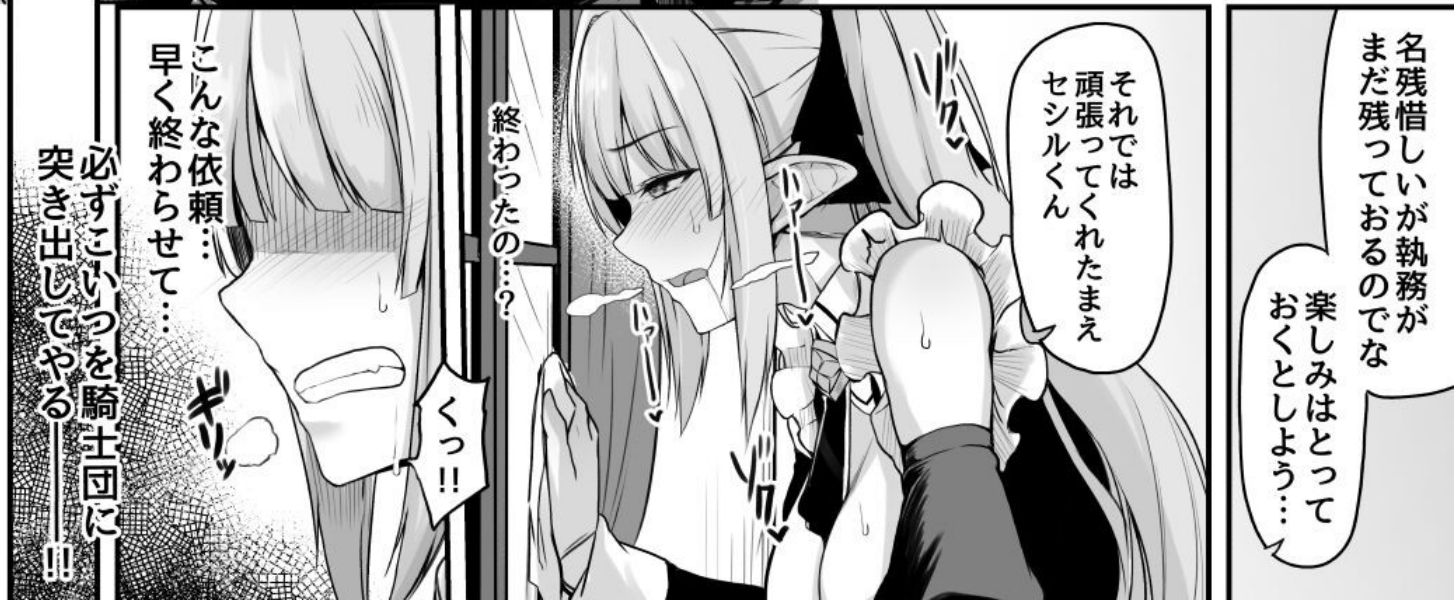
エルフだから倍出すって
言われちゃったし…

だれか来た…？

今は怪しまれない
ように仕事して…

屋敷の間取りを
覚えることにしよう…











—セシル!

へっ!?

あ、あれ...?
私...なにを?

まったく...手が
止まってるわよ!

す、すみません...

いけない...
ほーっとしてた...
疲れてるのかしら...

ここを片付けたら
ご主人様の部屋へ
あなたをお呼びよ

私ですか?

嫌すぎる...

こんなに早く
呼ばれるなんて
ご主人様に気に
入られたわね

気に入られたく
ないんだけど...

ご主人様に失礼が
ないようにね?

は...はい...
わかりました...

はあ...ご主人様の
呼び出しなんて...
嫌な予感がする...

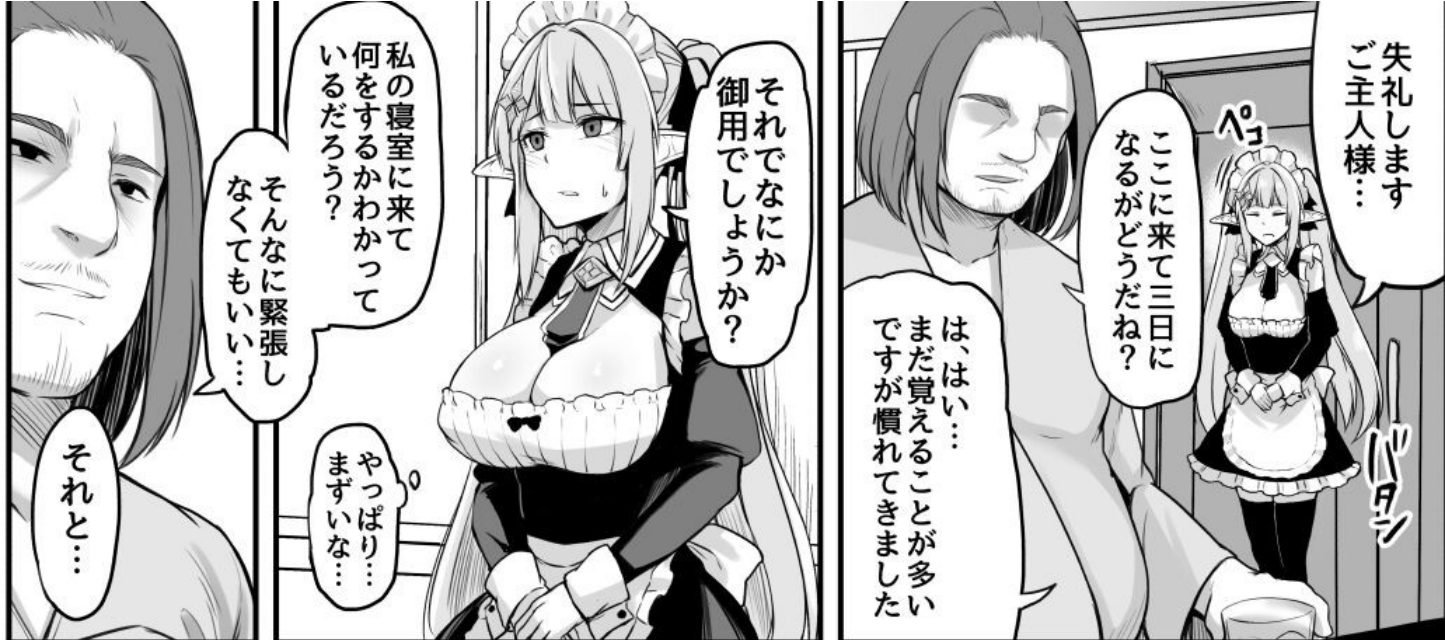
それにこの三日間
なにも手がかりを
見つけられていない

ほとんどの部屋は調査したし...
このままじゃマズイわね...

それより今はこれを
どう切り抜けるかね

ご主人様...
セシルです

入りなさい



失礼します
ご主人様…

ここに来て三日に
なるがどうだね？

は、はい…
まだ覚えることが多い
ですが慣れてきました

それになにか
御用でしょうか？

私の寝室に来て
何をするかわかって
いるだろう？

そんなに緊張し
なくてもいい…

やっぱり…
まずいな…

それと…



それでお目当ての
モノは見つかったかね？

シルヴィ

バレてる…!?
どうして…!?

そう身構えるな
覚えてないかね？

自分で教えて
くれたじゃないか…

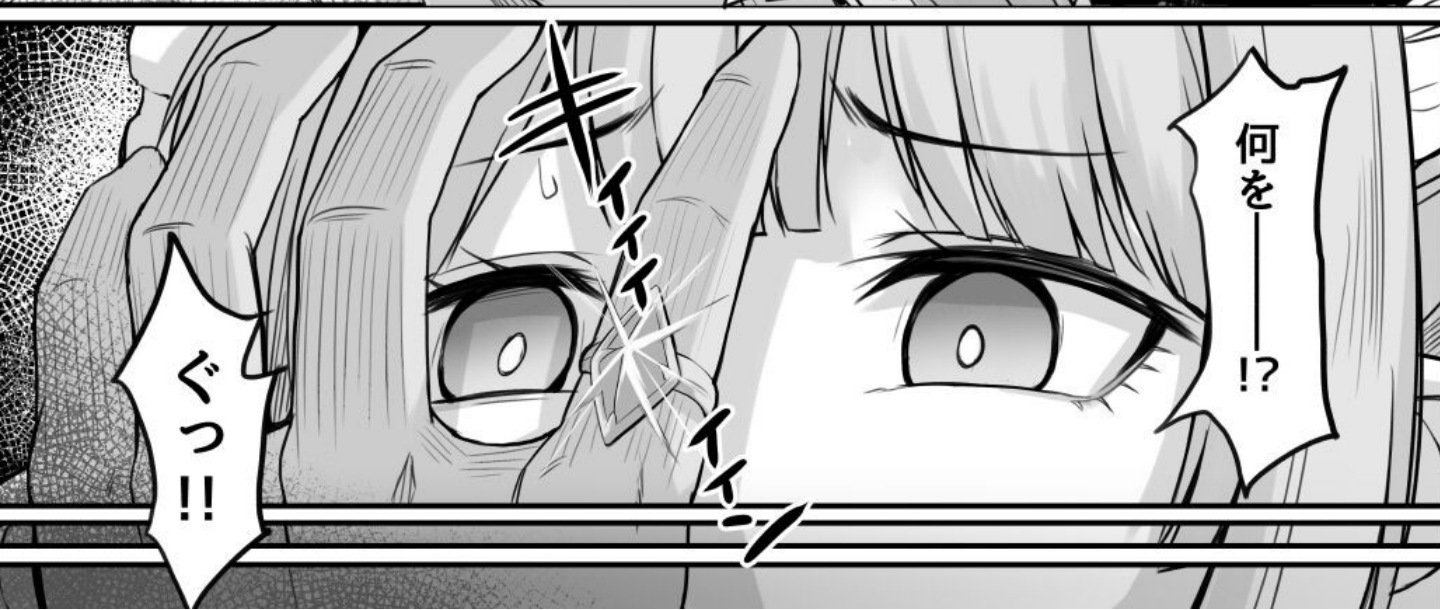
何を言って…



いつ私のことが
バレたのかけど
かなりまずい…

どうする…
逃げるか…？

でも私のことを
知られてる以上…
強引にでも…



そうだ…

私はあの夜に
見つかったんだ…

でもこの程度の
相手ならなんとか
できると思って…

証拠を奪おうと
魔法を放とうと
した瞬間…

一緒にいたメイドが
身を挺して守って…

私が攻撃を躊躇った
そのスキを狙われた

普通のメイドの
動きじゃなかった…

そして私は
捕まったんだ

ご主人様の身に
つけている指輪…

相手を催眠状態にして…
暗示をかけて自由に操る…

少しは抵抗できても
対策のない私には
どうしようもなかった…

そして…私は…

私は身体を散々
辱められながら…

私が…ご主人様に…
全部…喋ったんだ…

はははっ
ご主人様か…

ちゃんと催眠は
刷り込まれてるようだな

うっ…!?

たつぷりと身体を
舐けてやったのだ

今日は楽しませて
もらうぞシルヴィ

シリ

くそ…
卑怯者っ…

こいつの好きなように
私は操られてたんだ…

催眠魔法の指輪…

この三日間…
催眠で記憶を
封じられて…

ここに来る前に…
絶頂を禁じられて…

何時間も身体を
辱められていた…

それで催眠を解除されて…
絶頂してしまったんだ…

まだ私に別の催眠を
かけているはずだ…

このままじゃ
本当にマズイ!

でも貴族を
相手にどうする…？

逃げてもお尋ね者に
なるのがオチだ…

今なら誰もいない…
チャンスだ…！！

力ずくでお前をツ

ほれ…お前の
大好きなものだ

へ…？

ちんぽを差し出されたら
お前はどうするんだ？

どうするんだっけ…？
ああ…そうた…

ご…ご主人様が…
ちんぽを差し出したら…

あれ…？お前を
なんだっけ…？
くっさけり…♡

お前を…？
ちんぽを…？

やばい…頭が…
ぼーっとする…♡

誠心誠意…
お世話する…？

れえ…



ちっ…
違う…ツ!!

こんな催眠
なんかにっ…!!



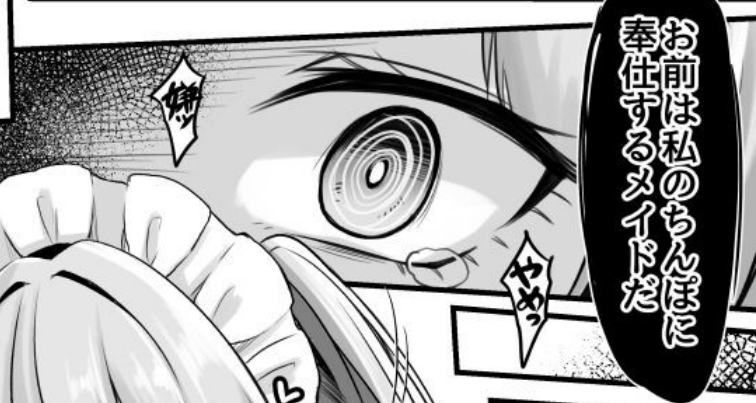
やはり完全に
意識を奪わないと
まだ抵抗できるか…

堕とし甲斐がある



その意識を保ったまま
催眠を重ねてやろう…

自分が快楽に堕ちて
いく姿を楽しむがいい



お前は私のちゃんぽん
奉仕するメイドだ



は…はい…

今日もご主人様のおちんぽ
お世話させて頂きます…♡♡

よしよし…

教え込んだことは
わかっておるな?

ぐうっ…
身体が言うこと
効かないツ…!!

はい…♡

ぐうっ…
こんな匂い…
嗅ぎたくないのに…



よし、啜えろ



いいぞ…シルヴィ…
すっかり私のちんぽを
身体に覚えろ…

不快なはずなのに…



ちんぽ…感じると…
安心する…♡

これも催眠で
仕込まれたの…？



他の雌に仕込ませる
のは苦勞したが…

お前は手のかからない
良い雌だぞ…シルヴィ…



おおっ…

回の中…
ちんぽの味で…
いっぱい♡

うまそうに吸い付きおって
そんなちんぽが好きか…

おやん

好き勝手言つて…
この下衆…!!

デカ乳揺らして
男を誘い追って

淫乱エルフが…

必ずお前を私の
モノにしてやるぞ…

誰がお前のモノに
なるもんかッ…

お前の大好きなザーメンだ
たっぷり出してやるぞっ！

しっかり喉開いて
全部飲み干せッ！！

催眠が解けたら
必ず…

出すぞー！

嫌あッ…♡
あつついのが…♡
喉通ってきて♡♡

なんで…♡
ザーメンおくら…♡

こんな気持ち悪いぞ…
なんでおらしく感じるの…♡

ちゅるん

ご主人様の…
おいしいザーメン♡

どれ…?
見せてみる…?

ありがとうございます
ございました♡

よしよし…
全部飲み干せて
偉いぞシルヴィー…

ハメる前に大好きな
催眠をかけてやろう…
ベッドに行くぞ…

はい…♡
ご主人様…♡

お前はちんぽ嗅いで
ちんぽだけ考えている

お前はご主人様に
発情する変態メイドだ

ちんぽとザーメンの
混じった匂い♡♡

違う…

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

違う

ご主人様のちんぽが
大好きな淫乱エルフ…

お前の子宮は精液を
欲しくて堪らない…

違うの♡♡♡

やばい…
頭がしびれる…♡

だがお前が本心から
ちんぽを求めない限り
身も心も満足する
ことができない…

そんなっ…

私が許可するまで
絶頂も満足もできない

卑怯っ…

よし…いいだろう…
挿れる前にちゃんと
ちんぽに媚びてみる

はい…♡
ご主人様…♡

い、淫乱メイドの♡
ところどころになった
すけべまんこ…♡

こんな…こんな…
はしたない格好で…♡

ばあ

ご主人様の♡
遅いおちんぽで…♡
ハメハメしてください…♡

こんな下衆に…
媚びるなんて…♡♡

ゆさ

ゆち



下品におねだりしおって
ハメてやるぞッ!!

挿れちや嫌あ
——♡♡♡♡



まんこが吸い
付いてくるぞ

おおっ…
よほどこのちんぽが
気に入ったみたいだな



なごこの快感♡♡
自分の身体じや…
ないみたい♡♡♡♡

おまんこ突かれると
全身に快感がくる♡♡

気を抜いたらすぐ
イツてしまいそうだ……

あ

1/54

くそ……♡遠慮なしに
ちんぽ突いてきてツ♡

こんなに気持ちいいのも……全部催眠のせいだッ……♡

全身に快感が
登ってくるツ♡♡♡

10 卷

でもイケない…ッ

イク寸前で快感が止まる……もどかしい……♡

普通ならもう何回も
イツてるのにッ……♡

こんな…下衆の…
ザーメンなのに…

子宮が…疼く…♡

でも…
なんとか耐えた…

いまだに…
子宮が…

何を呆けておる？
まだ一回膣内射精
しただけだぞ？

嘘…膣内で…
大きくなつて…

へん…

アキ

アキアキ

まだまだ
ハメてやるぞ
シルヴィ！

「一回も出したのに
まだする気なの…?」

いやっ…!!
今動かれたらッ

子宮に出された
ザーメンが暴れてるみたい♡♡

もっと精子欲しくて
おまんこが疼いてる♡♡

ちんぽ…突かれる度に…
おまんこ切なくなるっ…

気持ちいいのに
満たされないの
っらいっ…

おまんこイキたい♡♡
おまんこイキたい♡♡

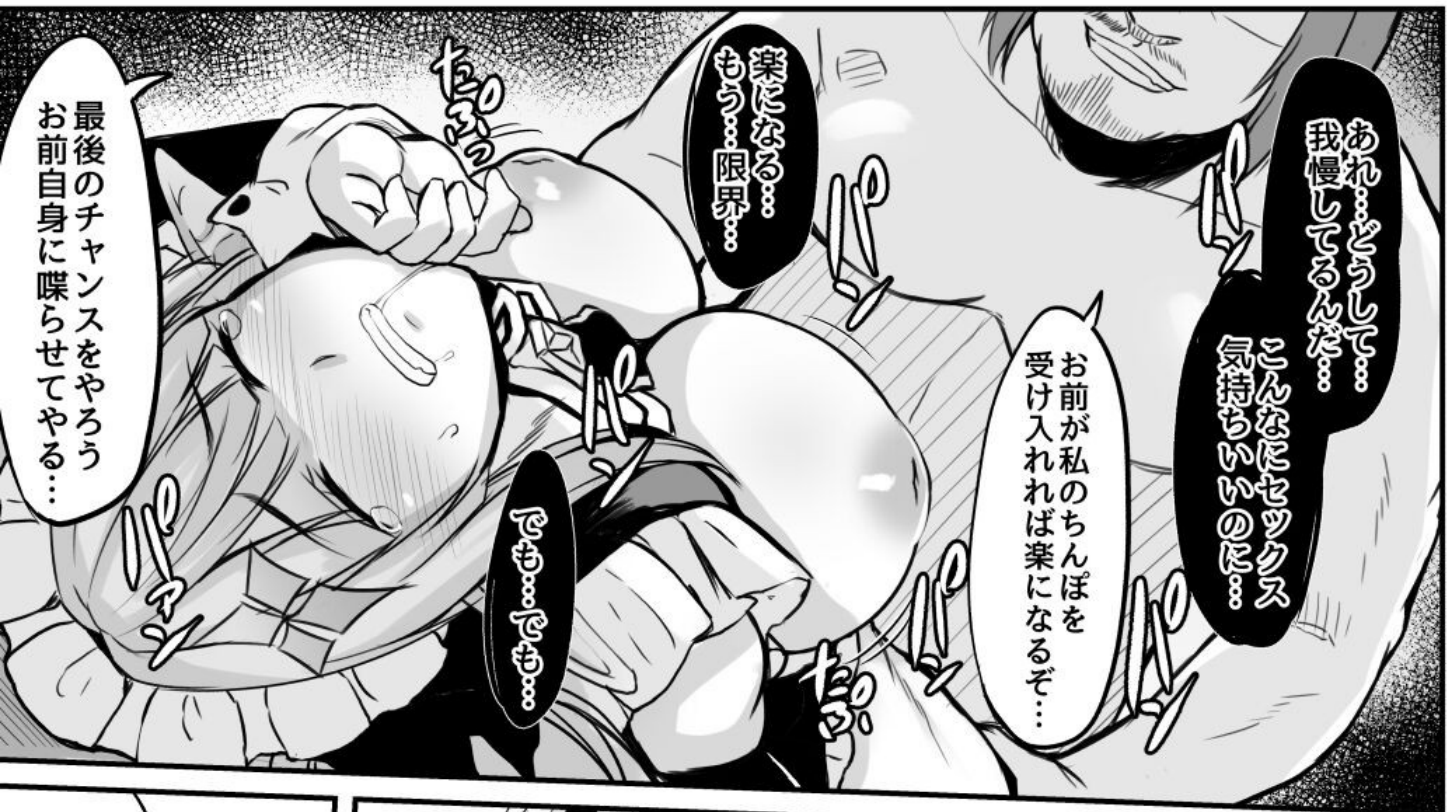
これ以上我慢したらッ
ホントに壊れちゃうッ



イケなくて
つらいだろう…

我慢しなくて
いいんだぞ

シルヴィ…



あれ…どうして…
我慢してるんだ…

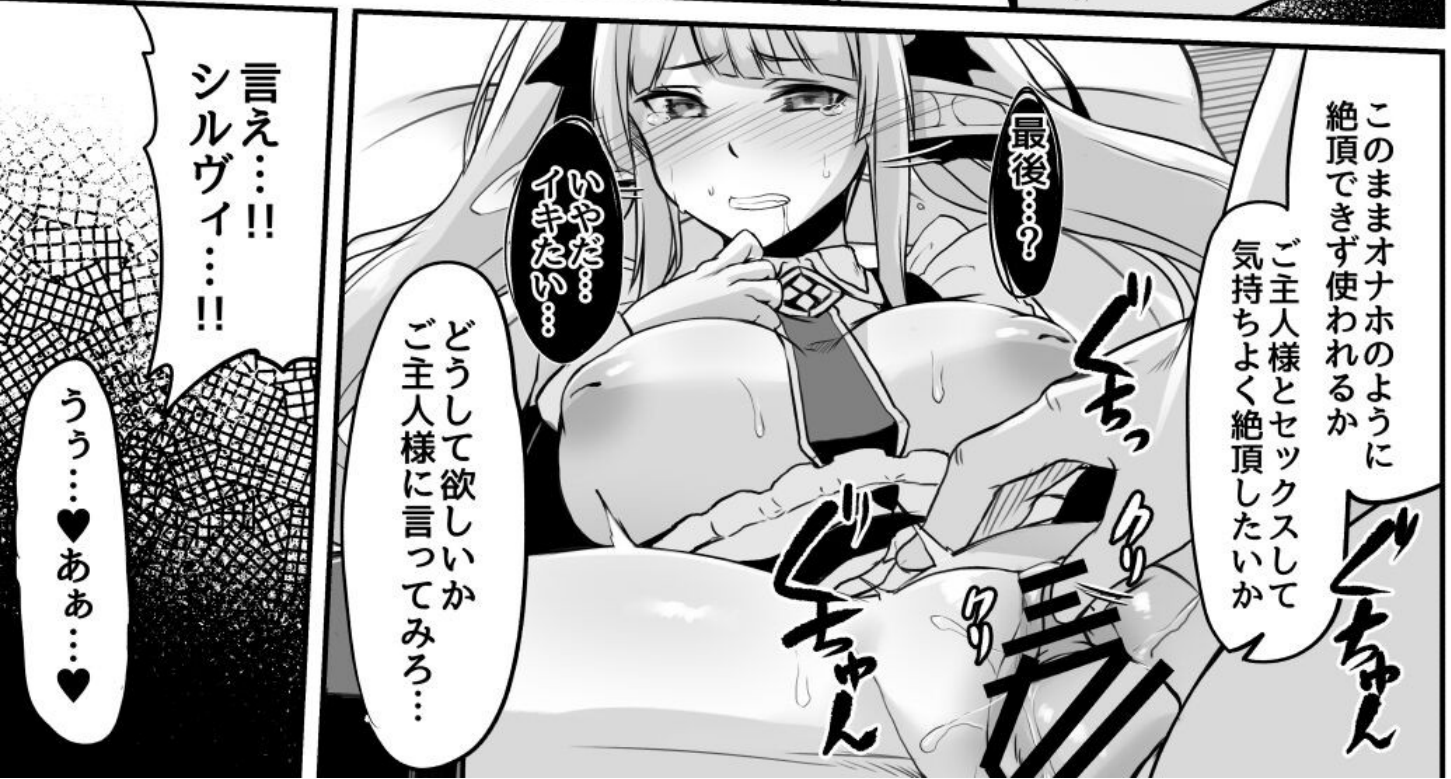
こんなにセックス
気持ちいいのに…

お前が私のちんぽを
受け入れれば楽になるぞ…

楽になる…
もう…限界…

あ…あ…あ…

最後のチャンスをやろう
お前自身に喋らせてやる…



このままオナホのように
絶頂できず使われるか

ご主人様とセックスして
気持ちよく絶頂したいか

最後…?

いやだ…
イキたい…

どうして欲しいか
ご主人様に言ってみろ…

言え…!!
シルヴィ…!!

うう…♡ああ…♡

イ…イキたいです…♥♥♥♥♥

意地はつてごめんなさい…♥

ドキ♥

メイドまんこに
お情けください…♥

まき

きん

ご主人様の
遅いおちんぽで
ハメられたいです♥

ドキ♥

ご主人様のちんぽで…♥
イかせてください…♥

おおっ！
シルヴィー！！

望み通りに
してやるぞ！

認めっちゃった♥

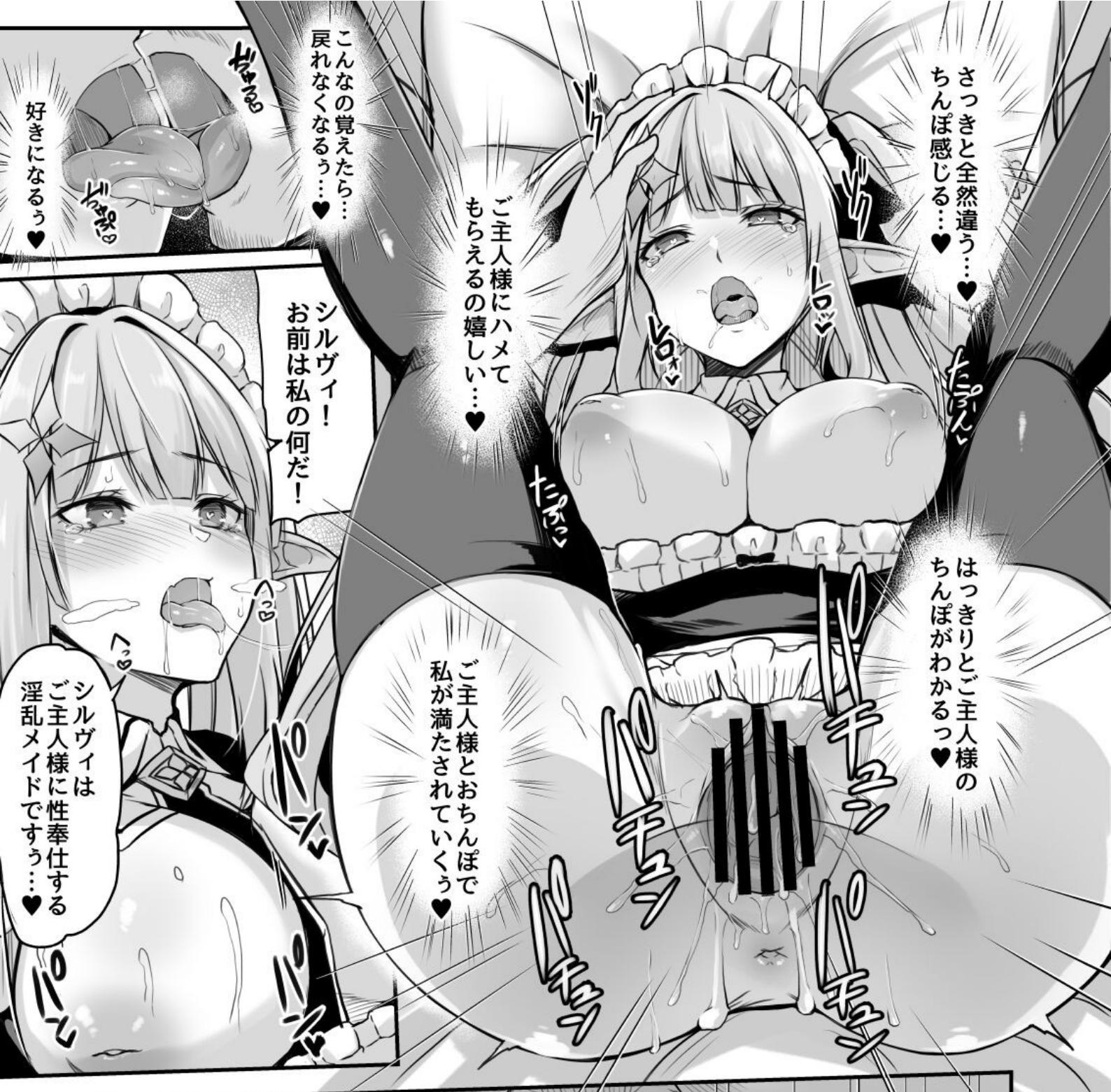
この人が…♥
私のご主人様つて
認めっちゃった♥

んぎん

きん

きん

嫌だったはずなのに…♥
ご主人様のこと…♥
求めちゃってる…♥



さつきと全然違う…♡
ちんぽ感じる…♡

はつきりとご主人様の
ちんぽがわかるっ♡

ご主人様にハメて
もらえるの嬉しい…♡

ご主人様とおちんぽで
私が満たされていくう♡

シルヴィー！
お前は私の何だ！

好きになるう♡

シルヴィーは
ご主人様に性奉仕する
淫乱メイドですう…♡



よろしい！
そろそろ射精すぞ！
絶頂させてやるッ！！

感謝してアクメしろ！

ああん♡
ありがとうございます♡♡♡
メイドまんこイキます♡♡

ご主人様と一緒に
イカせて頂きますしゅう♡♡♡



ふう：
極上のハメ心地だ：

エルフまんこ
気に入ったぞ……

お前をよこした
騎士には感謝せねばな

明日からは私の
側に置いてやる

たつぷりと私好みに
躑けてやるからな：

シルヴィー……

はい：♡
ご主人様：♡

↑淫乱度
↑屈服回数
↑セクハラ経験
↑セックス経験
↑フェラ経験
↑催眠・洗脳経験
↑絶頂経験
↑精飲経験
↑膣内射精経験
+称号「催眠のせい♥」

心の中で思ってしまう
シルヴィちゃん…

あわ
っ

ジャ

ジャ

想像以上に賃金をもらって
ちよつと良いかもしれないと

-用語紹介-

【シルヴィ】

当作品の主人公のエルフちゃん。
とある街を拠点に活動している駆け出し冒険者。
素直じゃなくて、チョロいむっつりスケベ。

今回はメイドとして貴族のサイーミの屋敷に潜入…
今回は剣を使うことができないけど
いざとなったら魔法でなんとかなる…
と思ってたけどなんとかならなかった。

彼女を取り押さえたのは元騎士で依頼者の元恋人。
駆け出し冒険者がかなう相手じゃない…

シルヴィは洗脳や催眠などの精神魔法への
識が疎く、抵抗することができなかった。

でもメイドになってお財布はほくほくになった模様。



【催眠魔法の指輪】

サイーミが持っていた魔法の指輪。
魔力を込めると対象を催眠状態にし、
好きな暗示をかけることができる。
催眠状態にした相手の意識を奪ったり、
記憶を封印したり、身体を操ったり、
自分の思いのままにすることができる。

精神魔法への対策を持たないと抵抗は難しい
効力は非常に強いが長期間持続はしない。
非常に高価であり、一部地域では禁制品である。

【Eランククエスト】

冒険者ギルドにはS～Dの5段階のランクに分かれているが、
規定にはまらないような内容のクエストをEランクに分類される。
内容は冒険ではないような調査や表に出せない内密の依頼、
評価できない変異種の討伐や土地の調査など、分類される。
個人行方依頼が多く、希望する冒険者だけが引き受けることができる。

今回は潜入調査。サイーミの悪事を暴き、証拠を抑えるのが今回のクエスト。
サイーミは前述の催眠魔法の指輪を使い、女性たちを自分の思いのままにし、快楽を貪っていた。
そして用の済んだメイドは奴隷商や娼館に売りに出されているという…。
シルヴィは大変気に入られてしまい、ご主人様のお側付きのメイドになってしまった…